

県感染症情報センター

海外での感染症に注意(上)

声なき 感染症を知る ◆ 3 ◆

この時期、「夏休み
の海外旅行」を計画し
ている人も多いと思い
ます。楽しい思い出を
残して帰国できるよ
う、今回と次回は、海
外で感染し、国内に持
ち込まれる「輸入感染
症」についての情報と
予防について紹介しま
す。

▽生水に潜む感染症
細菌に汚染された飲
食物が口に入ること
で感染するコレラ、赤痢、
腸チフス・パラチフス
などが「輸入腸管感染

アからの帰国者に多く
みられています。

いずれも、下水施設
が十分整備されていな
い開発途上国で、よく
みられる感染症です。

予防するには、食事
前の手洗い、生水や
水は避け、清潔なミネ
ラルウォーターを活用
することをお勧めしま
す。

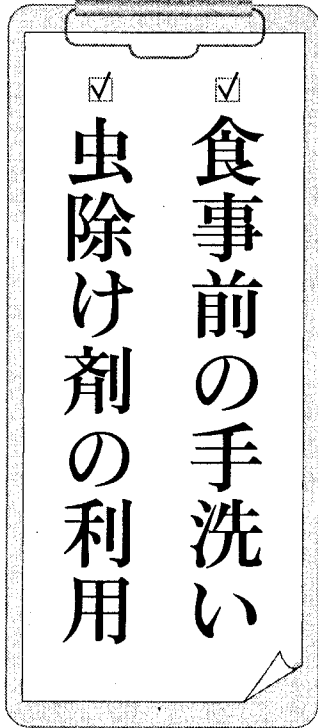
また、食事は加熱調
理されたものが安全
で、生野菜やカットフ
ルーツなどは注意が必
要です。

は2人、一昨年は5人
の患者が確認されてい
ます。

原因は、デングウイルス
を持ってきているネッ
タイシマ蚊やヒトスジ
シマ蚊など、通常ヤブ
蚊と呼ばれる蚊に刺さ
れ感染するのです。発
病すると急激な発熱、
頭痛、発疹(ほっしん)
などの症状があらわれ
数日間続きます。

特にインドネシアの
バリ島、シンガポール、
タイなどからの帰国者
に目立ちます。予防に
は虫除け剤を利用する
などとして、蚊に刺され
ないことが唯一の方法
です。

▽国内での広がり
を阻止しましょう



症」です。過去には国
内でも発生してしまし
たが、現在の患者は庄
倒的に輸入例です。

主な感染地域はタ
イ、インドネシア、イ
ンドなどで、特に赤痢
はインド、インドネシ

▽蚊が媒介する感染
症
次に紹介するのは、
熱帯・亜熱帯地域への
渡航で、蚊に刺されて
感染したウイルスを原
因とするデング熱、チ
クングニア熱、ジカ熱

です。なかで
も注意が必要
なのがデング
熱です。

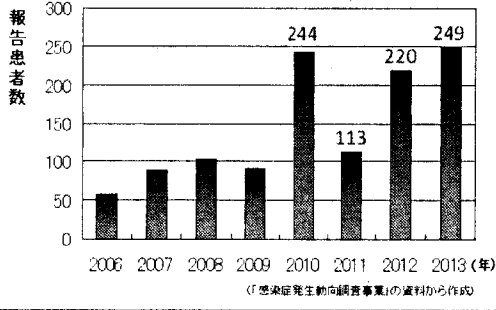
感染症発生
動向調査の集
計からは、2
012年以
降、全国で毎
年250人前
後の患者が発
生しており、
県内でも昨年

もちろん、自身の感
染を防ぐことが最も大
切なことですが、不幸
にして帰国後に発症し
たヒトは、家族や友人
に感染を広げるなどし
て、国内流行の起点と
ならないように早期に
治療することが大切で
す。

例えば、デング熱を
発症した患者さんは、
ヤブ蚊に刺されないよ
うにしてください。過
去には、神戸、大阪や
長崎などで、デング熱
の国内流行が起こった
ことがありました。

(県感染症情報セン
ター)

輸入デング熱患者人数の推移



(「感染症発生動向調査事業」の資料から作成)